

景況 11期連続プラス

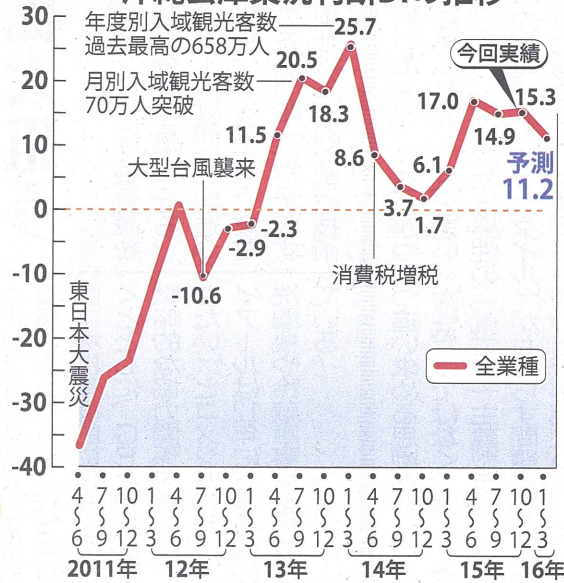
沖縄公庫10〜12月 前期比0.4ポイント上昇

沖縄振興開発金融公庫（譜久山副理事長）が15日発表した昨年10〜12月期県内企業景況調査は、前年同期と比べ景況が「好転した」から「悪化した」と答えた企業の割合を差し引いた業況判断DIが15・3で、1995年の調査開始以降、最長の11期連続プラスとなった。

前期から0・4ポイント上昇。観光客数の増加で、裾野の広い観光関連で好感感が広がっているほか、建設関連が公共・民間とも受注が堅調となり、全体を押し上げた。2桁台のプラスは3期連続。

来期今年1〜3月期は11・2と、好調が続くと見通している。沖縄公庫は「好感度は幅広い業種で出ているが、人手不足がボトルネックになっている」と指摘。ただ、「賃金引き上げなどで対応している企業も出ている」とした。全8業種のうち7業種が需要の高まりなどを受け、プラスだった。情報通信業は需要はあるものの、深刻な人手不足で受注が追いつかずマイ

沖縄公庫業況判断DIの推移



プラス15・8となった。雇用判断DIは36・2と過去最高を更新。18期連続で人手不足感が続いている。

県内景況天気図

※景況天気は売り上げDI・採算水準DI・資金繰りDIの平均値

業種	2014年		2015年		2016年			
	7~9月期 実績	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 前回実績	10~12月期 前回見通し 今回実績	1~3月期 今回見通し	
全業種(好転-悪化)	☀️11.3	☀️10.2	☀️13.1	☀️17.1	☀️14.8	☀️16.7	☀️19.0	☀️14.3
製造業	☁️▲9.6	☁️1.9	☁️3.9	☁️7.7	☀️18.2	☀️18.2	☀️24.2	☀️16.1
建設業	☁️1.9	☁️5.9	☀️14.5	☀️11.3	☁️5.6	☁️4.7	☁️9.0	☁️8.0
卸売業	☀️21.7	☀️17.1	☀️19.7	☀️26.4	☀️20.6	☀️26.2	☀️25.6	☀️22.5
小売業	☀️17.5	☀️17.1	☀️19.7	☀️29.6	☀️17.8	☀️24.8	☀️18.5	☀️20.7
運輸業	☀️19.2	☀️20.2	☁️5.2	☀️17.2	☁️7.8	☀️11.8	☀️28.1	☀️10.4
情報通信業	☁️▲1.8	☁️▲11.8	☁️0.0	☁️3.5	☁️1.8	☁️1.8	☁️▲5.3	☁️5.3
サービス業	☀️15.6	☁️6.1	☀️13.3	☀️10.9	☁️5.9	☀️17.8	☀️13.3	☀️12.6
飲食店・宿泊業	☀️49.3	☀️26.4	☀️31.8	☀️36.1	☀️50.0	☀️27.8	☀️43.5	☀️17.4

☀️ 快晴…30以上~100以下 ☁️ 晴…10以上~30未満 ☁️ 薄曇り…▲5以上~10未満
☁️ 曇り…▲30以上~▲5未満 ☔ 雨…▲100以上~▲30未満 (単位：%ポイント)

景況、11期連続「好転」超

沖繩公庫 飲食が高水準

沖繩振興開発金融公庫は15日、2015年10~12月期の県内企業景況調査を発表した。前年に比べて景況が「好転」していると答えた企業の割合から「悪化」している企業との割合を引いた業況判断指数(DI)は、全業種平均で

9月期)に比べて「好転」の業況見通しでも、引き続き2桁台のプラスが見込まれている。調査は昨年11月下旬、今月上旬に実施した。調査対象は資本金1千万円以上、従業員20人以上の県内企業。368社中、340社が回答(回答率92.4%)した。

プラス15.3となり、11期連続の「好転」超となった。沖繩公庫は景況判断について引き続き「拡大している」とした。

一方、雇用判断DIを見ると「不足」超が36.2に広がり、過去最高を更新した。業種別では製造業、建設業、運輸業で「不足」超幅が拡大した。当面の経営上の問題点でも「求人難」の回答が最多の19%に上るなど、売り上げ環境に好転が見られる半面で技術者不足が受注の制約となる人手不足感も強まっている。

業況DIは、前期(7~8)は業種別で唯一の「悪化」超だった。来期(16年1~3月期)の業況見通しでも、引き続き2桁台のプラスが見込まれている。調査は昨年11月下旬、今月上旬に実施した。調査対象は資本金1千万円以上、従業員20人以上の県内企業。368社中、340社が回答(回答率92.4%)した。

業況DIは、前期(7~8)は業種別で唯一の「悪化」超だった。来期(16年1~3月期)の業況見通しでも、引き続き2桁台のプラスが見込まれている。